	事業名	料理クラブ<前期><後期>	
1	1.2.	< 前期>4~7月(全5回)< 後期>9~12月(全5回) 子育て支援課(大家児童センター) 女子栄養大学サークルECOS 小学3~6年生 前期、後期とも12名 工作室(調理室を兼ねる)	
	坂戸市食育計画 推進計画におけ る目標	1-4, 1-5	①
	目的	いろいろな食材で、季節を楽しみながら料理を作 大学生との交流を楽しむ。	乍る。
	事業内容	女子栄養大学サークルECOSによる料理教室。 メニューは、学生たちのオリジナルで季節に応し 学生による手作りのレシピを作成し、それに沿っ 登録制。	
	成果	毎年、人気のある事業。料理を教えてくれる学生 季節に応じたメニューが子どもたちを楽しませて	
	その他		

	事業名	子どもの暮らし教室	
	実施時期 担当課 連携部署 団体 対象 参加者数 会場	平成26年8月1日 子育て支援課(大家児童センター) 市民生活課(講師 古川あつ子先生) 小学1~6年生 18名 工作室(調理室を兼ねる)	
2	坂戸市食育計画 推進計画におけ る目標	1-5, 1-12	4
	目的	簡単にできる手作り料理を楽しむ。 坂戸産の食材を利用する。	
	事業内容	古川あつ子先生による料理教室。 (メニュー チキンピラフ・ミネストローネ)	
	成果	食材の説明や栄養、調理のしかたなど、いろいろなことを教えてもらい楽しく料理ができた。 家庭に帰って親子で作ってみたとの嬉しい報告も聞くことができた。	
	その他		

	事業名	料理教室	
	美胞時期 担当課 連携部署 団体 対象 参加者数	H26/5/19、7/13、9/28、11/16、H27/1/18、3/15 全 6回実施 子育て支援課(坂戸児童センター) 坂戸児童センター 小学生 71名 坂戸児童センター	
3	坂戸市食育計画 推進計画におけ る目標	1-5	
	目的	自分で料理を作ることにより、食べる喜びや、誰かのために作る喜びを味わう。さらに、調理 を通じた食の大切さを学ぶ。	
	事業内容	毎年度実施しており、26年度は年6回実施。1回に ピに沿っての料理を体験。指導や課題のレシピは ノーラバー、2回目フルーツゼリー、3回目スイー 目豆チョコ、6回目イチゴババロア)	は講師ボランティアの講師に依頼。 (1回目グラ
	成果	参加者が自ら料理し試食をしたことで、料理をつる。	つくる喜びを実感することができたと思われ
	その他		

	事業名	親子あそび教室(筑波大附属坂戸高校での小動物	かとのふれあいや野菜の収穫)
	対象参加者数	平成26年6月26日、12月4日 の2回実施 子育て支援課(坂戸児童センター) 坂戸児童センター、筑波大付属坂戸高校 幼児親子 6月26日 36名、12月4日 39名 計75名 筑波大附属坂戸高校農場	
4	坂戸市食育計画 推進計画におけ る目標	1-5, 1-7, 1-10, 1-12	5
	目的	小動物 (豚、にわとり、アヒル) とのふれあいやに対する興味や意識を高める。	P野菜の収穫を通して、親子で楽しみながら食
	事業内容	坂戸児童センターの「親子あそび教室」で筑波大季節の野菜の様子を観察したり収穫を体験した。	、附属坂戸高校に依頼。小動物とのふれあいや
	成果	普段食卓にでる食材である野菜の様子を観察・切の卵に触れることもでき、普段食卓にならぶ食材ぶことができた。	
	その他		

	事業名 クッキングクラブ		
	争耒石	99429977	
	実施時期	平成26年4月~平成27年3月	
	担当課	子育て支援課(千代田児童センター)	
	連携部署 団体	女子栄養大学	C) San
	対象	小学4年~6年	
	参加者数	14名	
	会場	千代田児童センター工作室(調理を兼ねる)	
5	坂戸市食育計画 推進計画におけ る目標	1-3, 1-4, 1-5, 1-6	2
	目的	旬の野菜を使った料理や行事ごとの料理を知り、	調理を楽しむ。
	事業内容	月ごとにテーマを決め、栄養大生のもと調理を行	īō.
	成果	学生と料理をし関わっていく中で、「食」を楽しく学んでいった。家庭でも、台所に立つこと が増えた様子。包丁を持つ手が「さま」になっていくのがよくわかった。	
	その他		

	事業名	わくわくクラブ「作って食べよう」	
	実施時期 担当課 連携部署 団体 対象 参加者数 会場	平成26年6月21日(土) 子育て支援課(千代田児童センター) 小学2年~6年生 15名 千代田児童センター内工作室(調理を兼ねる)	
6	坂戸市食育計画 推進計画におけ る目標	1-3, 1-4, 1-5	6
	目的	調理する楽しさや、大勢で食べる雰囲気を味わう。	
	事業内容	手打ちうどんを作り、釜で茹でる。出来たてのう	どんを食べる。
	成果	「うどん」ができるまでの過程を知ることで、新 玉」を足で踏む作業でとても盛り上がり、最後に が、楽しかったらしい。	
	その他		

	事業名	幼児クラブ	
		平成26年9月24日 三芳野児童センター 幼児クラブの子どもと保護者 24人 三芳野児童センター	
7	坂戸市食育計画 推進計画におけ る目標	1-5	
	目的	簡単に出来るおやつを作ろう。	
	事業内容	親子で豆腐入りお好み焼き作り。	
	成果	親子で楽しそうに作って食べていた。	
	その他		

	事業名	幼児クラブ 	
		平成27年1月28日 三芳野児童センター 幼児クラブの子どもと保護者 32名 三芳野児童センター	
8	坂戸市食育計画 推進計画におけ る目標	1-5	
	目的	簡単に出来るおやつを作ろう。	
	事業内容	マジカルカップケーキとフルーツポンチ	
	成果	「おいしいね」と言いながら親子で笑顔いっぱいで楽しい時間を過ごしていたようだ。	
	その他		

	事業名	小学生の料理教室	
		平成26年7月12日、平成26年9月6日 三芳野児童センター 小学生 7月12日 16人、 9月6日 13人 三芳野児童センター	
9	坂戸市食育計画 推進計画におけ る目標	1-5	
	目的	簡単なおやつを作ることにより、食について興味関心を持つ。	
		7月~ひんやりデザート~おやつを作って食べよ 9月クレープ作り。	う。
	成果	簡単で冷たいデザートを完食していた。	
	その他		

	事業名お茶のみ友達集まれ		
	実施時期 担当課 連携部署 団体 対象 参加者数 会場	平成26年6月3日 三芳野児童センター 幼児と保護者 35人 三芳野児童センター	
10	坂戸市食育計画 推進計画におけ る目標	1-10	
	目的	簡単なおやつでホッとしたり、食べ物の大切さを知る。	
	事業内容	6月 抹茶入り豆腐白玉団子	
	成果	豆腐入り白玉団子は、作り易く低価格でおいしかった。母親同士ゆったりおしゃべりしていた。	
	その他		

	事業名	夏休み子ども暮らし教室	
	対象	平成26年7月23日 三芳野児童センター 坂戸市役所 市民文化課 小学生 16人 三芳野児童センター	
11	坂戸市食育計画 推進計画におけ る目標	1-2, 1-5	
	目的	食について興味関心を持つ	
	事業内容	市民文化課に依頼し、講師を招いて小学生向けの	調理実習を行う。ピラフとミネストローネ。
	成果	お米をといで、水を計るなどの基本を教えて頂レ	た。
	その他		

	事業名	ジュニアクッキング	
	実施時期	通年(10回)	
	担当課	三芳野児童センター	
	連携部署 団体	女子栄養大学	C SE O
	対象	小学生	
	参加者数	170名	
	会場	三芳野児童センター	
12	坂戸市食育計画 推進計画におけ る目標	1-2, 1-5	①
	目的	子どもたちに旬の素材を利用して、食に興味関心を広げる。	
	事業内容	女子栄養大学調理研究室の学生が、身近なメニュ	ューを考え子供たちに指導する(年10回)
	成果	お姉さんたちと関わり楽しみながらクッキングをいるとの声があった。	としていた。身近な素材が多く家庭でも作って
	その他		

	事業名	夏野菜でピザをつくろう	
	連携部署 団体 対象 参加者数	平成26年7月18日(金) 坂戸保育園 年長児 25人 坂戸保育園	
13	坂戸市食育計画 推進計画におけ る目標	1-4, 1-10	⑤
	目的	野菜の特徴を知る。 育てた野菜を使って調理し、みんなで食する。	
	事業内容	野菜をちぎるなどできる範囲で調理に関わる。 オ 様子を見て、調理の仕方を知る。出来立てをみん	マットプレートを使って炒めたり混ぜたりする いなで食する。
	成果	実際に野菜を触って、感触やにおいなど具体的にて、「おうちでも見たことある、やってる。」 高まったようだ。薄味にしたので素材の味がよく	「楽しそう。」等会話も弾み、調理への関心も
	その他		

	事業名	出汁カフェ	
	連携部署 団体 対象 参加者数	平成27年1月29日(木) 坂戸保育園 全園児と保護者 約250人 坂戸保育園	
14	坂戸市食育計画 推進計画におけ る目標	1-3, 1-10	
	目的	素材の出汁の味を知る。	
	事業内容	保育参観日にコーナーをつくりかつお出汁、昆布 き素材そのものの味を知っていただく。	5出汁を用意し園児、保護者に試飲していただ
	成果	関心が高く、みな喜んで飲んでいた。「本物のかつおや昆布から摂ったんですか?」「結構味が出るんですね。うちでもやってみよう。」という声が聞かれ、化学調味料が入っていない味への関心が高まったようだ。	
	その他		

	事業名	お米作り	
	担当課 連携部署 団体	5月~10月 城山保育園 5歳児	
	参加者数会場	保育園内	
15	坂戸市食育計画 推進計画におけ る目標	1-5, 1-10	5
	目的	自分たちで収穫したお米でおにぎりを作って食べる。	
	事業内容	田んぼづくり、お水の管理、稲の生長観察、稲メ	刂り、おにぎりを作って食べる
		12月15日に実施。お米を研いだりして、炊いたお米でおにぎりを作り3時のおやつに食べた。ほかほかのおにぎりをほおばり、お米の甘みや炊けた直後のおいしさを感じ取っていたいようだった。	
	その他		

事業名 夏野菜の栽培と収穫(3、4、5歳児) クッキング保育(5歳児)		ング保育(5歳児)	
	実施時期 担当課 連携部署 団体 対象 参加者数 会場	5月〜収穫より随時 城山保育園 3、4、5歳児 保育園内	
16	坂戸市食育計画 推進計画におけ る目標	1-5, 1-9, 1-10	5
	目的	・友達と一緒に野菜の苗を育て成長を観察する。 ・収穫した野菜を使って料理を作り、食への関心を高める。	
	事業内容	・野菜の収穫(ミニトマト・ピーマン・きゅう!・収穫野菜(ピーマン、なす)を使って5歳児が	
	成果	・ピーマンは匂いがあり苦手な子も多いが、この みんなが食べていた。自分たちで育てたものは	
	その他		

	事業名	食育かるた	
	実施時期	平成26年8月25日(月)	
	油堆如 罢	城山保育園 城西大学 サークルDHA	
		4, 5歳児	
	参加者数	4、5歳児22名 学生12名	
	会場	保育園内	
17	坂戸市食育計画 推進計画におけ る目標	1-1, 1-2, 1-6, 1-8, 1-15, 1-16	16
	目的	食育かるたを通して、食に対する理解を深める。	
	事業内容	・城西大学薬学部医療栄養学科サークルDHAの)学生さんと一緒に食育かるたを使って遊ぶ。
	成果	・食育かるたの内容を理解してかるたを楽しむまではいかなかったが、体に必要なもの、大事なものをわかって給食のときなどに活かせた。	
	その他		

	事業名	夏野菜パーティー	
	実施時期	平成26年8月1日	
	担当課	千代田保育園	
	連携部署 団体		C) SED
	対象	園児	
	参加者数	25人	
	会場	千代田保育園	
18	坂戸市食育計画 推進計画におけ る目標	1-5, 1-7, 1-10	
	目的	育てた野菜に愛情を持つ。野菜の特性を知る。おいしく食べる。	
	事業内容	朝、園児皆で収穫する。野菜を手で食べられる大きさにする。お浸し、天ぷら、焼きそばと調理員にも協力していただきパーティを開く。	
	成果	連続して野菜の観察画を実施。性質等理解する。収穫した野菜は順に家庭に持ち帰り、どのように食卓に並べられたかを確認する中で保護者にも関心を持っていただくことができた。枝豆は麦茶で乾杯するなど興味が持続するような取組の中で、目的は達成できた。	
	その他		

	事業名	夏野菜でクッキングを楽しもう	
	実施時期 担当課	平成26年7月29日 東坂戸保育園	
	連携部署団体	左長旧	
		年長児 24人	
	会場	保育室	
19	坂戸市食育計画 推進計画におけ る目標	1-4, 1-5	5
	目的	食べ物に関心を持つ。喜んで調理したのしく食べ	ং ক ু
	事業内容	自分たちで育てた野菜でスパゲティーをつくって	(食べる。
	成果	自分たちで育てた野菜を使っての調理なので、関心も高くとても喜んで楽しく食することがで きた。	
	その他		

	事業名	野菜作りとクッキング	
	実施時期	平成26年度の年間を通して	
	担当課	溝端保育園	
	連携部署 団体		C) SED
	対象	年長児を中心に実施	
	参加者数	30名	
	会場	溝端保育園園庭及び5歳児保育室	
20	坂戸市食育計画 推進計画におけ る目標	1-1, 1-5, 1-9, 1-10, 1-12	58
	目的	・年間を通して野菜作りをし、世話をしながら里 ・5歳児を中心にクッキング保育を体験する。	予菜を身近に感じ興味や食べる意欲を養う。
	事業内容	5歳児を中心に夏野菜を栽培し、世話や収穫の暑への啓蒙につなげて、子育てにさらに関心が持て	
	成果	年間を通して野菜作りを体験(ナス、トマト、ヒげん)し収穫を喜び合うことができた。また採わり食べたが、自分たちが育てた野菜なので苦手な	1た野菜を使い年長児を中心に夏野菜ピザを作
	その他		

	事業名	夏野菜作りとクッキング	
	実施時期 担当課 連携部署 団体 対象 参加者数 会場	5月~8月 薬師保育園 5歳児 20人 薬師保育園	FOR THE PART OF TH
21	坂戸市食育計画 推進計画におけ る目標	1-4, 1-13, 1-15	\$
	目的	夏野菜の生長と収穫を楽しむ	
	事業内容	ミニトマト・ピーマン・なす・きゅうり・ゴーヤキングをする。	ア・スイカの苗を植え世話をする。収穫しクッ
	成果	5歳児は、収穫した野菜を包丁を使って切り一人一人が自分のピザを作りを楽しんだ。材料があまったので、その後4歳児もピザ作りを行った。	
	その他		

	事業名	給食の食材カードを掲示	
	実施時期	年間	
	担当課	薬師保育園	
	連携部署 団体		C SE O
	対象	全園児	
	参加者数		
	会場	薬師保育園	
22	坂戸市食育計画 推進計画におけ る目標	1-6, 1-15	3
	目的	給食の献立の材料を知らせると共に素材の名称を	と知らせる。親子で食に関心を持つ。
	事業内容	給食の前に担任が素材の名前と料理名を伝える。	
	成果	年間を通し掲示することにより、材料と献立がリンクし野菜・肉・調味料などの名前を覚えたり、迎えに来た時に親子で会話する姿が見られ、食への興味が広がっている。	
	その他		

	事業名	バター作り	
		11月 薬師保育園 3、4,5歳児 57人	
23	坂戸市食育計画 推進計画におけ る目標	1-15	149
	目的	牛のミルクから変化していくことを知る。	
	事業内容	ミルクを振ることによりバターに変わっていく核	美子を見る 。
	成果	市販のバターとは違ったさわやかな味わいが保護者にも好評だった。	
	その他	保育参観日だったため、川畑先生に「カルがるる ラスの保護者には、葉酸入り御飯にふりかけをか た。	

	事業名	五大栄養素の大切さを知る	
		年間 薬師保育園	
	担当課 連携部署 団体	米 叫休月園	
	対象	5歳児	
	参加者数	20人	
	会場	薬師保育園	
24	坂戸市食育計画 推進計画におけ る目標	1-6, 1-10, 1-15	2
	目的	バランスの良い食事の大切さを知らせる。	
	事業内容	「食育戦隊ペンタゴン」のお話を通して行う。	
	成果	日々の保育の中でパネルシアターを通して子ども達がいろいろな栄養素について身近に学ぶことができた。	
	その他		

	事業名	教師や友達と一緒にケーキを食べて祝う誕生会	
	実施時期 担当課 連携部署 団体	平成26年12月15日 末広幼稚園 PTA	
	対象	幼稚園児 181名 末広幼稚園	
25	坂戸市食育計画 推進計画におけ る目標	1-1, 1-4, 1-6, 1-7, 1-11, 1-16	
	目的	・教師や友達と食べることの楽しさを味わう	
	事業内容	・各クラスに戻りケーキを食べたりジユースを飲・クリスマスが近いのでクリスマスの絵本を見た	
	成果	みんなと食べるとおいしいという声が聞かれた。 リスマスに興味を持っている姿が見られた	宝物のように大切に一口ずつ食べていた。ク
	その他		

	事業名	食育推進委員会	
	担当課連携部署団体対象	6月~3月 学校教育課(教育センター) 女子栄養大学 健康政策課 教育総務課 坂戸市立小・中学校食育推進委員 33名 坂戸市立教育センター	
26	坂戸市食育計画 推進計画におけ る目標	1-2, 1-6, 1-7, 1-8, 1-10, 1-12	124689
	目的	坂戸市立小・中学校における食育を推進すること もに健康な児童・生徒を育成する。	:により、望ましい食習慣を身につけ、心身と
	事業内容	年間3回開催 ○坂戸市立小中学校の食に関する指導、保護者への啓 ○食育プログラムの推進 ○食育調査について ○健康政策課からのお知らせ	発活動
	成果	推進委員会の協議の中で、朝食の欠食率を減らす法としては、学校便り、学年便り、保健便りなと者の食に対しての関心を高めることができた。ま解を図ることができた。	で啓発した。それにより、児童・生徒・保護
	その他		

	事業名	食育プログラム研修会	
27	実施時期 担当課 連携部署 団体 対象 参加者数 会場	平成26年8月7日 (水) 学校教育課 (教育センター) 女子栄養大学 健康政策課 教育総務課 坂戸市立小学校5、6年 中学校1、2年担任教師及び授業担当者 38名 女子栄養大学 会議室・コンピュータ室等	
	坂戸市食育計画 推進計画におけ る目標	1-2, 1-6, 1-7, 1-9, 1-12	12589
	目的	食育プログラムのねらい・授業における留意事項 実感を伴った指導ができるように教員の指導力の	
	事業内容	○食育プログラムの授業実施を円滑にするための)伝達講習会(模擬授業も含む)
	成果	模擬授業をまじえて研修を行った。食育プログ らい」、「評価」、「詳細な指導の手立て」にて た教員も改善された点や、指導の留意点について 分かった。	Oいて理解を深めた。これまで授業を行ってい
	その他		

	事業名	地場産野菜等の給食導入	
	実施時期 担当課 連携部署 団体 対象 参加者数 会場	平成7年度~ 教育総務課 いるま野農業協同組合(JA)、農業振興課 市内小・中学校(児童、生徒) 約8000人 市内小・中学校	
28	坂戸市食育計画 推進計画におけ る目標	1-10, 1-12	358
	目的	学校給食を通じて、児童・生徒が望ましい食生? 関心と理解を深めることを目的とする。	舌や食糧の生産等(地産地消)に対する子供の
	事業内容	坂戸産のお米や地元で生産された野菜・卵などの地場産野菜の導入については、JA職員、学校栄養合せを行いながら、納品する野菜や時期を決定し	養職員、教育委員会担当職員等で月2~3回打
	成果	家庭に配布する予定献立表に地場産野菜を使用する日を掲載したり、昼の放送で児童生徒に 「坂戸産の食材を使用していること」を知らせるなどの取り組みを行うことで、児童生徒の 「地場産」に関する興味・関心が深まった。	
その他どで、		坂戸市の学校給食では地場産野菜の利用拡大になどで、学校給食の使用日に合わせて野菜を生産が困難であること。	

	事業名	葉酸ブレッドの導入	
		平成20年度~ 教育総務課 健康スポーツ推進課 市内企業 (㈱サンメリー) 市内小・中学校 (児童、生徒) 約8000人 市内小・中学校	
29	坂戸市食育計画 推進計画におけ る目標	1-8	389
	目的	児童・生徒及び保護者に坂戸市が進めている健康的とする。	長づくり政策と地産地消の理解を図ることを目
	事業内容	市内小・中学校の学校給食で「さかど葉酸ブレッ (坂戸市葉酸プロジェクトの1つとして坂戸産の 「さかど葉酸ブレッド」が開発され、市内の企業 と連携を図りこれを学校給食に取り入れた。)	O小麦を原材料とし、葉酸を取り入れたパン
	成果	児童生徒に葉酸というビタミンについて知っても 深めることができた。	ららう機会となるとともに、地産池消の理解を
	その他	通常購入しているパンの倍近くの値段のため、年 (葉酸ブレッド) 30g⇒43円 40g⇒56円 60 (県給食パン) 30g⇒24.20円 40g⇒26.07円	g⇒83円

	事業名	筑波大坂戸高校の生徒が栽培した農作物の学校終	合食への導入
	実施時期 担当課 連携部署 団体 対象 参加者数 会場	平成22年度10月~ 教育総務課 筑波大附属坂戸高校、健康スポーツ推進課 市内小・中学校(児童、生徒) 約1600人 市内小・中学校(坂中・南小・坂小)	
30	坂戸市食育計画 推進計画におけ る目標	1-10, 1-12	58
	目的	学校給食を通じて、児童・生徒が望ましい食生活 関心と理解を深めることを目的とする。	5や食糧の生産等(地産地消)に対する子供の
	事業内容	地産地消の一環として、筑波大坂戸高校の生徒が 取り組みを開始した。 (高校に隣接する坂戸中学校と南小学校と坂戸/	
	成果	児童生徒の「地場産」に関する興味・関心が高まり、高校生との交流が深まった。また、南小学校の食育の取り組みが評価され、平成23年11月に「埼玉県食の安全大賞」を受賞したり、WHO(世界保健機関)が学校給食の視察に訪れた。	
	その他	筑波大付属坂戸高校の先生に協力いただき、高校の近隣にある南小学校、坂戸中学校、坂戸小学校に野菜を運んでいただいているが、今後拡大するためには、野菜の運搬方法を検討する必要がある。	

	事業名	坂戸ブランド野菜の給食導入	
	実施時期 担当課 連携部署 団体 対象 参加者数 会場	平成25年度~ 教育総務課 農業振興課 健康スポーツ推進課 地元生産者 市内小・中学校(児童、生徒) 約8,000人 市内小・中学校	
31	坂戸市食育計画 推進計画におけ る目標	1-8, 1-10, 1-12	358
	目的	児童及び保護者に坂戸市が推奨している坂戸ブラ とする。	ランド野菜と地産地消の理解を図ることを目的
	事業内容	市内小・中学校の学校給食で「さかどルーコラ」 導入した。また、市内一部の小学校で「すいおう おう蒸しパンを導入した。 (栄養教諭・学校栄養職員が中心となって地元フ 御協力の下、地元生産者に学校給食用として栽培	う」を使用したナムルやみそ汁、中学校ですい ブランド野菜の献立研究を行い、農業振興課の
	成果	児童生徒に坂戸ブランド野菜や葉酸というビタミ に、地産池消の理解を深めることができた。	ミンについて知ってもらう機会となるととも
	その他	全学校が同日に坂戸ブランド野菜を使用するた& した。	か、給食室に搬入する人手がなく、職員が運搬

	事業名	さかど市民塾開催事業「おやじの料理」
	実施時期 担当課 連携部署 団体 対象 参加者数 会場	平成26年9月~平成27年3月 全7回 社会教育課 市民全体(男性) 13人 浅羽野公民館 料理実習室
32	坂戸市食育計画 推進計画におけ る目標	1-1, 1-2, 1-3, 1-4, 1-5, 1-8
	目的	(さかど市民塾の目的) 市民が講師になることにより「教えることは二度学ぶ」を実践し、講師が教える生きがいを持 ちながら、併せて市民の学習機会を創造する。
	事業内容	男性を対象とした料理教室を開催し、簡単な料理で生活習慣病予防等につなげます。
	成果	講師アンケート:毎回受講生から学ぶことも多く、感謝している。今後も努力を続けたい。 受講生アンケート:今まで料理経験がなかったが、家事の手伝いをするようになった。
	その他	

	事業名	地産地消料理教室
	実施時期 担当課 連携部署 団体 対象 参加者数 会場	①10月 ②11月 農業振興課 なし 市内在住、在勤、在学者 ①16人 ②16人 ①入西地域交流センター ②北坂戸公民館
33	坂戸市食育計画 推進計画におけ る目標	1–12
	目的	坂戸ブランド農産物に慣れ親しんでもらうことで家庭での食事にも取り入れてもらい、地産地 消の推進を図ることを目的とする。
	事業内容	①坂戸ブランド野菜「すいおう」を使用した料理教室の開催。(講師:生産農家 山田ふみ 氏) ②坂戸ブランド野菜「さかどルーコラ」を使用した料理教室の開催。(講師:女子栄養大学教 授 根岸由紀子氏)
	成果	すいおう・さかどルーコラの様々な食べ方を知ってもらったことで、参加者の方が家庭での食事に取り入れやすくなりました。
	その他	

	事業名	市民農園事業	
	実施時期 担当課 連携部署 団体 対象	平成23年度~平成26年度 農業振興課 なし 市内在住者で農業者以外の方 192人	
	会場	各市民農園(元町、八幡、片柳、浅羽、石井)	
34	坂戸市食育計画 推進計画におけ る目標	1-8, 1-10	⑤
	目的	自ら農業体験をすることで、農業への理解を深め 安心な農作物への関心を高めます。	りていただくとともに、地産地消の推進、安全
	事業内容	市民農園用地の借上げ、市民農園6ヶ所(元町: 45区画、石井(2か所)70区画、計239区画)の質	
	成果	自分たちで作物等を栽培することにより、農業ペ 更には農作業を通した健康づくりにもなっている	
	その他		

	事業名	坂戸ブランド農畜産物
	担当課連携部署団体対象	4月~12月 農業振興課 なし 農家、市民 27人 (試験栽培農家)
35	坂戸市食育計画 推進計画におけ る目標	1-8, 1-12
	目的	葉酸含有量など、栄養成分が豊富に含まれるなど、健康とおいしさをコンセプトに野菜を選定 し、坂戸市のブランド野菜創出に向けた取組を行います。
	事業内容	坂戸産農産物のブランド化の推進 さかどルーコラ、すいおう、枝豆、紫カラシナ等、平成25年度までに試験栽培を行った品種 のフォローを行う。
	成果	直売所や市内スーパーでの販売を行うにあたり、坂戸ブランド農産物のラベルシールやパネル を作成し坂戸ブランド野菜の魅力をアピールすることで、市民への地産地消、健康への意識の 高まりに寄与しました。
	その他	

	事業名	北坂戸寿大学	
36	対象	平成26年度5~3月(全14回) 北坂戸公民館 城西大学 60歳以上の男女 46名 北坂戸公民館	
	る目標	1-3, 1-4, 1-5, 1-6, 1-8 60歳以上の男女の社会参加と仲間づくりの促進	
	事業内容	教養講座健康体操、グラウンドゴルフ等の実技バランスの良いメニューの調理実習	
	成果	生きがいのある充実した生活をおくるために教養、健康、郷土等についての学習をするとともに、仲間づくりや地域社会への参加意識の高揚を図れた。また、バランスのよい健康メニューの調理実習により、健康意識も高められた。	
	その他		

	事業名	食による高齢者交流会	
	連携部署 団体 対象	平成26年度6~2月(全5回) 北坂戸公民館 65歳以上の北坂戸地区在住者 20名 北坂戸公民館	
37	坂戸市食育計画 推進計画におけ る目標	1-11	
	目的	一緒に料理を作って昼食を楽しみながら、参加者 う。	台相互の交流・情報交換及び仲間づくりを行
	事業内容	• 調理実習	
	成果	高齢者が食べることで集まり、新しい知り合いかまつわる食の事について話が弾んだ。「楽しかっ	ぶできた。子供の頃の事や、郷里の事、それに った」という感想が多かった。
	その他		

	事業名	ファミリージャガイモ作り教室
	実施時期 担当課 連携部署 団体 対象 参加者数 会場	平成26年3月~6月 全4回 三芳野公民館 市内在住・在勤者 申込み30組93人(延べ103組236人) 三芳野公民館及び三芳野地区の畑
38	坂戸市食育計画 推進計画におけ る目標	1–10 ⑤
	目的	ジャガイモを育て、農作物の尊さを考える。また、家族をはじめ共同作業による収穫の楽しさを味わい、連帯感、達成感を分かち合う。
	事業内容	3月 開校式・うね作り・種植え 4月 除草・芽の整理・土寄せ 5月 除草・土寄せ・石灰の散布 6月 収穫・試食会・閉校式
	成果	家族で楽しく作業を行い、試食会も好評で、収穫の喜びやまた参加したいという声もいただき 有意義に実施できた。
	その他	

	事業名	ふるさと料理教室	
	実施時期 担当課 連携部署 団体 対象 参加者数 会場	平成26年12月2日 三芳野公民館 市内在住・在勤者 15名 三芳野公民館	
39	坂戸市食育計画 推進計画におけ る目標	1-5, 1-12	6
	目的	「三芳野」をテーマに調理実習と参加者の交流を	を図る
	事業内容	調理実習1回 副題:ふるさとの材料でおもてなし料理 献立:鮮魚の照り焼き、筑前煮、うず巻き卵、天寄せん(主に地域の食材を使用。日ごろ作っている料理を アレンジした。)	
	成果	和気あいあいと楽しくできていた。 「有意義な時間が過ごせた」という声があった。	
	その他		

	事業名	遊びの学校(味噌作り)	
	実施時期 担当課 連携部署 団体 対象	平成26年5月~平成27年2月 入西地域交流センター 小学生(4~6年生) 17名 入西地域交流センター	
40	坂戸市食育計画 推進計画におけ る目標	1-5	36
	目的	味噌を手作りすることで、異なる学年・クラスの 族で食べることによって家族間のコミュニケー。 考えるきっかけ作りを目的とする。	
		5月味噌作りの説明・仕込み 2月味噌完成	
	成果	手作りの食事を作ることにより食材や食事に対	して興味を持つきっかけとなった。
	その他	小学生でも理解しやすいよう、丁寧な説明を心液	がけた。

	事業名	遊びの学校 (パン作り)	
	実施時期	平成26年5月~平成27年2月	
	担当課	入西地域交流センター	
	連携部署 団体	交流センター利用登録団体	
	対象	小学生(4~6年生)	
	参加者数	17名	
	会場	入西地域交流センター	
41	坂戸市食育計画 推進計画におけ る目標		
	目的	パン作りをすることで、異なる学年・クラスの小家族と食べることによって家族間のコミュニケー考えるきっかけ作りを目的とする。	
	事業内容	パン作り	
	成果	食事を楽しく食べるきっかけとなり、家族間のコ	1ミュニケーションの推進が図られた。
	その他	小学生でも作りやすいように、丁寧な説明と準備	着を心がけた。

	事業名	プレパパママ教室	
	担当課 連携部署 団体 対象	3日間コース:年3回、半日コース:年3回 市民健康センター 埼玉県歯科衛生士会坂戸支部 妊婦・夫、その家族 195人 市民健康センター	
42	坂戸市食育推進 計画における目 標	1-1, 1-2, 1-3, 1-4, 1-5, 1-6, 1-8, 1-9, 1-13	
	目的	・家族の健康を考える ・食事のバランスや間食について学び、家族の食 ・口の健康について考える	全生活を考える
	市娄山穴	(1) 3日間コース 1日目 講義(父親の役割、妊娠中の身体の変化など)、沐浴実習、 2日目 講義(妊婦と子の口腔、妊娠期・産後の身体の変化と食事) 3日目 講義(分娩の経過と産後の生活、授乳など)、妊婦体操等 (2) 半日コース 講義(妊娠期・産後の身体の変化と食事、父親の役割、妊娠中の身	、歯科健診、歯科保健指導
	成果	・自分自身の食生活を振り返ると共に、家族の食・妊娠中の口腔ケアや赤ちゃんの歯の形成につい ・妊娠期から産後の食生活や口の健康について、	いて学ぶことが出来た。
	その他		

	事業名	雕乳食講習会
	実施時期 担当課 連携部署 団体 対象 参加者数 会場	年9回 市民健康センター なし 乳児(生後4か月~1歳)、その保護者 138人 市民健康センター
43	坂戸市食育推進 計画における目 標	1-1, 1-2, 1-3, 1-5
	目的	・食習慣の基礎を作り、楽しく食べる子どもを育む ・離乳食の作り方や進め方について講話と試食を通して学ぶ ・口の機能について知る
	事業内容	・講話「離乳食の進め方」 「育児のポイント」 「口の機能」・離乳食の試食
	成果	・講話、アモンストレーション、試食を通して離乳食の進め方、形態、口の手人れの仕方などについての埋解が深まった。 ・母にとって離乳食作りの負担が大きく、大人の食事からの取分け食についての説明や簡単に作ることのできるお粥のデモンストレーションを行うことで離乳食作りの負担軽減を図り、実践できる。 ・講習会を通じて、仲間作りのきっかけとなった。
	その他	

	事業名	栄養バランスのよい弁当の販売(市民スポーツフ	7ェスティバルにて)
		平成26年4月29日 市民健康センター 健康スポーツ推進課 坂戸市食生活改善推進員協議会 市民全体 一 市民総合運動公園	
44	坂戸市食育推進 計画における目 標	1-2, 1-3, 1-12	46
	目的	・望ましい食生活習慣の確立のため、食事を通しへ伝える。 ・食生活改善推進員の活動を市民に伝える。	て栄養バランスや減塩の大切さについて市民
	事業内容	食生活改善推進員が研修で学んだ知識を活かし、 スのよい弁当を作り、販売を行う。 提供数:約150食	市民スポーツフェスティバルにて栄養バラン
	成果	弁当の販売を通して、栄養バランスや減塩の大切 食生活改善推進員の活動を市民へ伝えることがで	
	その他		

	事業名	生活習慣病予防の食事教室(慢性腎臓病、糖尿病	F、高血圧症、脂質異常症)
	実施時期 担当課 連携部署 団体 対象 参加者数 会場	3日間1コース:年1回、2日間1コース:年3回 市民健康センター 埼玉県歯科衛生士会坂戸支部 成人男女 335人 市民健康センター	
45	坂戸市食育推進 計画における目 標	1-2, 1-3, 1-4, 1-5, 1-6, 1-9, 1-12	14
	目的	・市民に対して生活習慣病の知識の普及啓発に努 ・自らの食生活を見直し、望ましい食習慣への気	
	事業内容	1日目 保健・栄養講話 2日目 調理実習、歯科指導・口腔ケア	
	成果	疾病の特徴と予防のための生活習慣について知識 調理や試食などの体験なども組み込むことで、自 を促すことができた。	
	その他		

	事業名	食改の伝達クッキング
	実施時期	①7月25日、②11月7日
	担当課	市民健康センター
	連携部署 団体	坂戸市食生活改善推進員協議会
	対象	①小学生、②成人男女
	参加者数	①20人、②25人
	会場	市民健康センター
46	坂戸市食育推進 計画における目 標	1-2, 1-3, 1-5, 1-12
	目的	・望ましい食生活習慣の確立・生活習慣病予防・地区組織における自主活動の推進
	事業内容	食生活改善推進員による地域での料理講習会。
	成果	調理実習を通して、バランスのよい食事について伝えるきっかけとなった。 食生活改善推進員の活動を市民へ伝えることができた。
	その他	

	事業名	和食のプロに学ぼう!まきまきのり巻き教室	
	実施時期 担当課 連携部署 団体 対象 参加者数 会場	平成27年2月14日(土) 健康スポーツ推進課 健康づくり応援店、元気にし隊、坂戸児童セン ター 市内小学生 26名 坂戸児童センター	
47	坂戸市食育推進 計画における目 標		169
	目的	体験型の食育教室を通して、食への興味関心を深め、 増やすことを目的とする。また、地元産食材の活用に 店との協働による店舗の利用促進を図る。	
	事業内容	元気にし隊の協力のもと、健康づくり応援店「そうまび調理を実施した。葉酸が多く含まれる海苔を使ったうとともに、子供たちが自分自身で作る喜びや楽しるズやお口じゃんけんなども行い、口腔ケアの大切さる	このり巻き作りを通して、葉酸の普及を行 さを学ぶ料理教室とした。また、歯のクイ
	成果	事後アンケートからは、「家でも作ってみたい」、 はすごくおいしかった」との感想があった。講師によ 食事作りのポイントなども子ども達は真剣に話を聴き まったようだった。	よる伝統食としての「のり巻き」の話や、
	その他		

	事業名	食と健康のプランニングセミナー (体質を知って生活習慣病予防と認知症予防講習会)
		(H26) 7/1 · 2 · 5 · 8 · 11 · 12, 9/9 · 10 · 13, 10/6 · 8 · 18 · 25, 11/6 · 10 · 12, 12/6 · 10 · 12, (H27) 2/7 · 10 · 13
	連携部署	健康スポーツ推進課 市民健康センター、女子栄養大学
	団体 対象	成人一般
	参加者数	246名(延1,391名)
	会場	女子栄養大学、市内公民館、市民健康センター
48	坂戸市食育推進 計画における目 標	1-2, 1-3, 1-6, 1-8, 1-9, 1-13
	目的	葉酸、肥満、高血圧関連の4つの遺伝子検査、体質に応じた個別の栄養指導を通じて、市民の 食生活等の生活習慣の改善を促し、生活習慣病及び認知症予防を図る
	事業内容	・講話「体質を知って生活習慣病予防と認知症予防」 ・遺伝子検査(葉酸・血圧・肥満)、血液検査に基づく個別栄養指導 ※約半年後に、2回目の採血・個別栄養指導を実施 ・運動教室 ・食事教室
	成果	継続して参加する方も多く、市民の葉酸や食を通じた健康づくりへの関心の高さがうかがえた。 遺伝子・血液・食事調査結果等を踏まえた個別食事指導により、血清葉酸値や緑黄色野菜摂取量の増加、ホ モシステイン(動脈硬化の危険因子)の減少、BMIが適正範囲内である人の増加、食塩摂取量の減少などの 良好な結果が得られた。
	その他	

	事業名	牛とのふれあい食育特別授業「わくわくモーモースクール」	
49	実施時期 担当課 連携部 対象 参加者数 会場	平成26年12月11日 健康スポーツ推進課 市内小学校、亀田牧場(亀田氏)、埼北酪農、 城西大学学生 小学生と保護者 市内小学生 市内小学校	
	坂戸市食育推進 計画における目 標	1-10	35
	目的	食育の一環として、生産者の話や牛とのふれあいなどを通し、いのちの大切さや食べ物のつながりを知り、食を通じて児童の心とからだを育むことを目的に実施する。	
	事業内容	牧場主による牧場の仕事やいのちの大切さについての講話や、牛とのふれあい、哺乳体験を行う。	
	成果	牛とのふれあいを楽しんだり、講師の話を真剣に聞きながら、子ども達は命の大切さ、毎日の食事から命をいただいていることを学んでいた。保護者アンケートからは、「食の道筋が分かり、全ての食べ物に毎日感謝する気持ちが大切と感じた」、「親も勉強になった。」などの声が聞かれた。また、ほぼ全員の保護者が、授業を通して命の大切さ・生産者への感謝の気持ちを育むことができたと回答した。	
	その他		

50	実施時期 担当課 連携部署 団体 対象 参加者数 会場	平成26年4月~平成27年3月 健康スポーツ推進課 自治会、市内3大学 市民(自治会単位) 延べ344名 2地区(溝端町南町、公団東坂戸団地)	
	坂戸市食育推進 計画における目 標	1-1~1-16	17
	目的	身近な場所である集会所などを拠点に健康づくり 軽に健康づくりを進められるような環境整備を進 はじめとする生活習慣を見直すきっかけづくり、	進める。地域で交流を図りつつ、自分の食事を
	事業内容	地域の自治会が主体となって、地域の集会所などを拠点に健康づくりの実践活動を行う。 市内3大学の先生方にご協力いただき、自治会の希望に応じた「食」「運動」「くらし」など のテーマで講座等を行う。	
	成果	希望のあった公団東坂戸団地において、運動講座 たせたことにより、より一層の健康づくりを促す た食事のポイントや媒体(レシピ・試食等)は、 た。	「プログラムを進めた。参加者の属性を考慮し
	その他		

事業名

健康づくり地域寺子屋事業

	事業名	健康づくり応援店認定事業		
	実施時期 担当課 連携部署 団体 対象 参加者数 会場	平成20年度~ 健康スポーツ推進課 市内飲食店、坂戸市商工会、市内3大学 市民全体 認定店舗数 44店舗 ※平成27年3月現在		
51	坂戸市食育推進 計画における目 標	1-2, 1-3, 1-6, 1-8, 1-9, 1-12, 1-13, 1- 14 ①③⑧⑨		
	目的	食を通じて健康づくりを応援する店舗を普及促進することにより、市民の健康を地域全体で支える環境整備を図り、もって健康なまちづくりの推進を図ることを目的とする。		
	事業内容	葉酸たっぷり、坂戸産野菜を使用しているなど健康に配慮したメニューや食品を提供する店舗を「健康づくり応援店」として認定する。認定店舗については、認定証を発行し、のぼり旗を使ってPRを行う。認定の際には、健康に配慮したメニューについての相談を行う。また、女子栄養大学と連携し、健康づくりに配慮し工夫を凝らした新メニューを開発する。		
	成果	健康づくり応援店からは、葉酸や健康についてお客様とのコミュニケーションをとる機会となっているとの意見があった。葉酸フェア参加店からは、「店舗のことを知るきっかけとなれば良いと考えている。葉酸の認知度を上げていきたい。」との声もあがった。メニュー開発に関わった店舗からは、健康に配慮したメニューを増やしていきたいなどと意欲的な姿勢も見られた。		
	その他			